2026年11月9日

各　位

会社名　デンカ株式会社
代表者名　代表取締役社長　石田郁雄
（コード番号：４０６１　東証プライム）
問合せ先　コーポレートコミュニケーション部長
山本浩之
（ＴＥＬ：０３－５２９０－５５１１）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年８月７日に公表した2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月13日に公表した2027年３月期通期連結業績予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

１．連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正について

（１）2027年３月期 第２四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異

（2026年４月１日～2026年９月30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	205,000	17,000	11,000	0	0.00
実績値（Ｂ）	208,721	24,709	21,170	6,930	80.41
増減額（Ｂ－Ａ）	3,721	7,709	10,170	6,930	
増減率（％）	1.8%	45.3%	92.5%	―	
(ご参考)前第２四半期連結実績（2026年３月期中間期）	196,699	9,740	6,791	3,902	45.28

（２）2027年３月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	450,000	30,000	20,000	16,000	185.67
今回修正予想（Ｂ）	425,000	37,000	26,000	16,000	185.67
増減額（Ｂ－Ａ）	△ 25,000	7,000	6,000	―	
増減率（％）	△5.6%	23.3%	30.0%	―	
（ご参考）前期連結実績（2026年３月期）	384,247	26,225	19,295	15,695	182.10

２．差異及び修正の理由

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績につきましては、電子・先端製品等を中心に販売数量が増加したことに加え、ポリマーソリューション製品等において、中東情勢の影響による原燃料価格の急激な上昇に対応した販売価格改定を実施した結果、在庫受払に伴う一時的な利益押上げ効果が想定を上回ったことから、売上高および営業利益は前回公表予想を上回り、増収増益となりました。また、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益につきましても、前回公表予想を上回り、増益となりました。

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、足元の業績動向に加え、今後、中東情勢の影響が緩和することを前提として、原材料価格の下落に伴う販売価格の改定および在庫受払による一時的な利益押下げ影響を織り込んでおります。その結果、売上高は前回公表予想を下回る見込みである一方、営業利益および経常利益は前回公表予想を上回る見通しです。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、期限を定めず操業を停止している米国子会社であるDenka Performance Elastomer LLCに係る事業整理損失（特別損失）等の計上を見込んでいることから、前回公表予想を据え置いております。

（補足情報）

2027年３月期 通期セグメント別業績予想数値

（単位：百万円）

		前回発表予想（A）	今回修正予想（B）	増 減 額（B－A）
電子・先端プロダクツ	売上高	110,000	117,000	7,000
	営業利益	13,000	16,000	3,000
ライフイノベーション	売上高	45,000	40,000	△ 5,000
	営業利益	6,000	3,500	△ 2,500
エラストマー・インフラソリューション	売上高	105,000	100,000	△ 5,000
	営業利益	7,000	8,000	1,000
ポリマーソリューション	売上高	170,000	150,000	△ 20,000
	営業利益	2,000	7,500	5,500
その他	売上高	20,000	18,000	△ 2,000
	営業利益	2,000	2,000	―
合　　計	売上高	450,000	425,000	△ 25,000
	営業利益	30,000	37,000	7,000

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上